

[水 田 作]

イブサ栽培における雑草防除について

野上竜介・木下猛夫・島村武範
(熊本県農業試験場)

NOGAMI, R., KINOSHITA, T. and SHIMAMURA, T.
The Weed Control of Rush Planting

一次、二次苗床および本田栽培と約19ヶ月にわたるイブサ栽培における雑草防除を、CI-IPCに代わる汎用性と、pcpに代わる低毒性および、粒剤の実用化による一層の省力化を目的として昭和38年より3ヶ年にわたり試験を行なったものである。

結果ならびに考察

(1) 初年度(昭和38年)

DBN 水和剤ほか7種類を供試し、DBNが除草効果も高く適切な使用条件下では薬害の少ないことが検知された。

(2) 二年目(昭和39年)

DBN 他3種を供試し、組み合せ散布及び使用時期を検討した結果、雑草の発生量が多い場合は、CI-IPC+DBN、又少ない場合はDBNの3月中旬一回散布が適当であることが判明した。DBNの散布成分量については粘質地で30g/a、砂質地では15g/aが限

界であることが検知された。

(3) 三年目(昭和40年)

粒剤に重点を置き、BDN, DCBN-3, A-1114を供試した。

以上3ヶ年の試験成績に基づき、除草体系を立てた。

第一表 収量及び雑草調査

試 験 区	7月10日 kg/a	雑草生体重	
		4月12日 (g/m ²)	
(散布成分量g/a)	乾茎重	長い重	
D B N 粒 剤 10	123.1	89.5	27.9
〃 〃 15	124.1	88.1	48.0
〃 〃 20	118.2	82.7	10.3
DCBN-3 粒 剤 10	123.4	89.4	20.0
〃 〃 15	125.9	89.5	62.7
〃 〃 20	118.8	82.8	36.9
A-1114 粒 剤 4.5	126.1	86.1	337.0
〃 〃 6	118.3	88.7	274.0
〃 〃 9	113.7	80.9	287.5
DCBN 水和 剤 20	118.8	83.2	83.0
〃 〃 20+20	121.5	86.0	55.3
手 取 除 草	120.2	85.7	8.9
無 処 理	121.7	86.7	361.2

第二表 いぐさ本田除草剤使用基準

適 要	第 一 回 除 草							第 二 回 除 草				
	対称となる いぐさの作 季	除 草 剤	剤 型	対称となる 土壌の種類	10 a 当 使 用 製 品 量	散布 時期	散布時 の湛落 水の別	備 考	除 草 剤	散時 布期	その 他 の 使 用 基 準	
雑 草 の 多 合	早 刈	cl - ipc	乳 剤 45 %	粘 質 土	450 g (水80~100 l)	二 月 中 旬	落 水	1~2日後 湛 水	DBN 水和剤 粒 剤 DCBN-3 粒 剤	三 月 下 旬	雑草の少い 場合に全く 同様	
	普通 刈			砂 質 土	300 g (水80~100 l)							
雑 草 の 少 な い 場 合	早 刈	D B N	水和 剤 45 %	粘 質 土	450 g (水100 l)	三 月 上 旬	湛 水	散布後5日 間湛水を保 つ				
				砂 質 土	300 g (水100 l)							
	普通 刈		DCBN-3	粒 剤 25 %	粘 質 土							6 kg
					砂 質 土							
			粒 剤 3 %	粘 質 土	5 kg							
				砂 質 土								